

庄原市立庄原中学校 第2学年 英語科学習指導案
単元名：「Unit5 A New Language Service」

指導者 庄原市立庄原中学校 教諭 松浦 優樹

日時 平成26年10月30日(木) 5校時(13:30~14:20)
 場所 2年2組教室
 学年 2年2組(男子13名, 女子18名, 計31名)

教科に関する調査の設問別の分析結果

平成26年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査 **1 2 3**

次の□はマークがニュージーランドの友達のアレックス(Alex)に送ったメール文です。マークになったつもりで、ユキの好きな教科や部活動について分かったことを4つの英文で書き、メール文を完成させなさい。

To : Alex
 From : Mark
 Subject : My new friend

Hi, Alex, I have a new friend in Japan. Her name is Yuki.

- ① _____
 ② _____
 ③ _____
 ④ _____

Your friend,
 Mark

【出題の趣旨】

まとまりのある一貫した英文を書くことができる。(外国語表現の能力)

主語や動詞を状況に合わせて適切なもの書き換えることができる。(外国語理解の能力, 言語や文化についての知識理解)

【学習指導要領の内容・領域】

エ「書くこと」(オ)

三人称単数についての正しい知識があり, 文と文のつながりなど

	通過率
本校	85.4%
広島県	68.2%

解答類型	1 (○)	2 (△)	3 (△)	4 (×)	9 (1~4の解答以外)	0 (無解答)
通過率(%)	55.3	0	30.1	4.9	6.5	3.3

この問題を解くために必要な力

- 英文を読み, 必要な情報を選別できる力
- 文頭の英文を読み, 主語を適切に変換できる力
- 主語に応じて適切な一般動詞を用いる力

誤答分析

- studies を studys と書き間違えている。【解答類型3】
 Her favorite subjects を She favorite subjects と書き, 主格と所有格の区別がついていない。
- 主語が He になっており, 正しい主語を注意深く読み取ることができていない。【解答類型4】
 一般動詞を三人称単数にしていない。
- 英文として成り立っていない。【解答類型9】

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

【单元名】「Unit5 A New Language Service」(第2学年)

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- 英文の主語を適切に変換できる力
- 主語に応じて(三人称単数の主語に応じて)動詞を変換できる力

【指導上の課題】

- ① 主語を置き換えるパターンプラクティス等の練習が不足している。
- ② 主語を意識させながら正しく動詞を用いてまとまりのある英文をつくる練習が不足している。

指導改善のポイント

文の主語と動詞に着目させながら、肯定文・否定文・疑問文の文構造を理解させる。

【指導上の工夫】

- ① 基本的な語彙や文法は繰り返し指導し、既習事項の復習をさせながら新出事項を理解させる。
- ②-1 ペア活動やグループ活動等で自然な話の流れを組み立てる力を培う。
- ②-2 単元を通してつながりのある英文を書く活動を取り入れ、単元の最後のまとめとして相手に自分の思いや考えを伝える等のまとまりのある英文を書かせる。

- ① 基本的な語彙や文法は繰り返し指導し、既習事項の復習をさせながら新出事項を理解させる。
 - ・ 単語インプットやチャットインプットで繰り返し指導することで、単語を定着させる。
 - ・ 英文をいろいろな形に変換する練習を繰り返す。
- ②-1 ペア活動やグループ活動等で自然な話の流れを組み立てる力を培う。
 - ・ 自分が書いた英文などをペアで確認し、学習の理解を深める。
 - ・ テーマに対して自分がどのような考えを持っているのか既習事項を用いて書き、英文の流れにつながりがあるかペアやグループで確認し、文章を付け加える。
- ②-2 単元を通してつながりのある英文を書く活動を取り入れ、単元の最後のまとめとして相手に自分の思いや考えを伝える等のまとまりのある英文を書かせる。
 - ・ 文章を付け加えてもらったものにメモし、まとまりのある文を書く材料に加える。
 - ・ 他の人の意見や理由も取り入れて、自分の意見をもう一度書く。

庄原市立庄原中学校 第2学年 英語科学習指導案

単元名：「Unit5 A New Language Service」

指導者 庄原市立庄原中学校 教諭 松浦 優樹

日時 平成26年10月30日(木) 5校時(13:30~14:20)
場所 2年2組教室
学年 2年2組(男子13名, 女子18名, 計31名)

単元について

本単元は、緑市に住んでいる外国人に対して緑市国際交流センターが外国語を話せるボランティアを探すところからスタートしている。そして、一郎の母は外国語ボランティアに応募して通訳として働くこととなる。外国人住民のために緑市が計画しているサービスを新聞で知り、その記事について自分の意見を英語で書くまで発展した設定となっている。

また、本単元の主言語材料としては、ifやwhenなどの従属接続詞や、I think that~, 理由を説明するbecauseなどの従位接続詞である。特に従属接続詞のifは「(もし)~なら」で条件を表し、whenは「~するときに」で時を表すことの区別を学習することができる。本単元の学習を通して、自分自身の意見を表現できる力、意見に対して明確な理由を表現できる力、他の人の意見に対して感想を言うことのできる力を育てることができると、今まで以上に英語で表現する幅が広がると考える。ALTから外国人として日本に住むことについての話を実際に聞くことにより、より考えを深めると考える。

調査結果からみる課題

<誤答分析から>

- 英文の主語を適切に変換できる力に課題がある。
- 主語に応じて(三人称単数の主語に応じて)動詞を変換できる力に課題がある。

<指導上の課題>

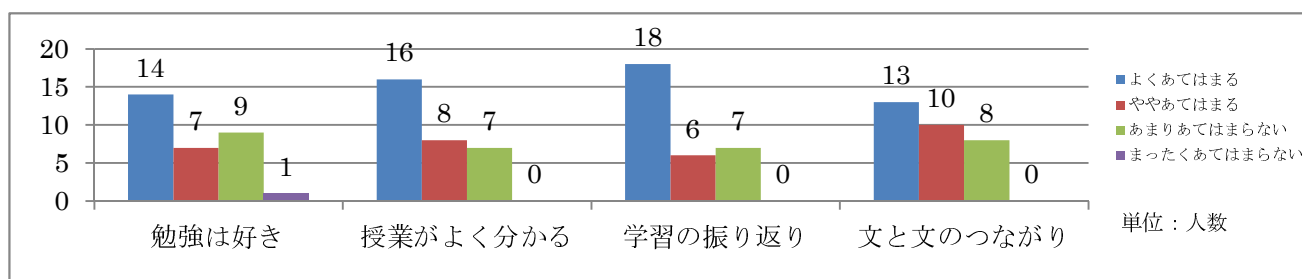
- 主語を置き換えるパターンプラクティス等の練習が不足している。
- 主語を意識させながら正しく動詞を用いる練習が不足している。

生徒観

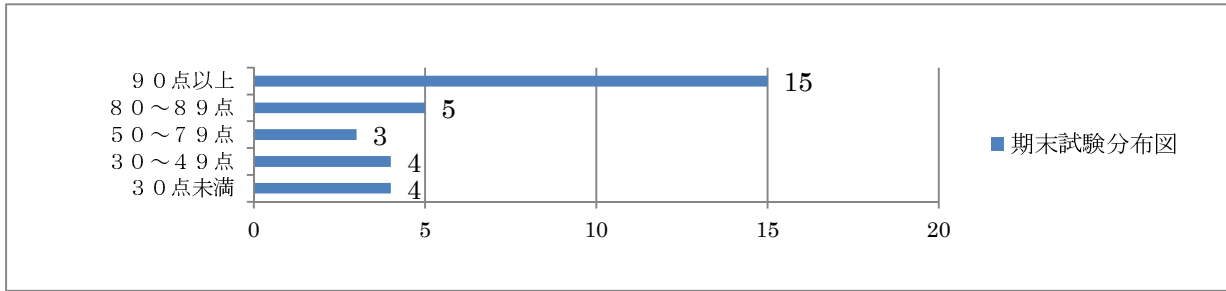
本学級の生徒は、男女ともに仲が良く、積極的に授業に参加する。発音や音読の声もとても大きい。ペア学習やグループ学習などでも互いに協力し良好な雰囲気の中で活動できる。

6月に実施した広島県「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙調査表2 教科の学習に関する調査では次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

- (1) 英語の勉強は好きです。
- (2) 英語の授業はよく分かります。
- (3) 英語の授業では、学んだことの振り返りをしています。
- (4) 英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くこととともに、文と文のつながりに注意しています。



この結果から、授業に対して肯定的な意見が多く、学習の振り返りをしている生徒が多いことが下記の期末試験の結果にも反映していると考えられる。6月末に実施した期末試験の結果は、平均点が74.1点であり、得点の分布は次のとおりである。



生徒の学習に対する意識調査の結果から見て、約7割の生徒が英語を楽しみながら学習していることが分かる。英語を使ってペアやグループで活動する学習活動として、チャットインプットや Super Input, コミュニケーション活動を毎時間行っており、生徒たちも楽しく活動している成果であると考えられる。

しかし、既習事項を用いて、英語を話す・読む・書くことが困難な生徒、英文を書くことができるが、文法や語彙の綴りに多くの誤りがある生徒がいる。既習事項などを用いて、英語を話す・読む・間違いなく英文を書く生徒との学力に大きな差が見られる実態がある。日頃の授業内容の理解が難しいため、学習に意欲的に参加しない生徒に意欲を持たせるために教え合いやリトルティーチャーなどの重要性を感じている。

指導改善のポイント

(1) 指導内容・指導方法について

- ① 基本的な語彙や文法は繰り返し指導し、既習事項の復習をさせながら新出事項を理解させる。
- ② ペア活動やグループ活動等で自然な話の流れを組み立てる力を培う。
- ③ 単元を通してつながりのある英文を書く活動を取り入れ、単元の最後のまとめとして相手に自分の思いや考えを伝える等のまとまりのある英文を書かせる。
 - ①では、帯活動として単語インプットやチャットインプットで繰り返し指導することで、単語を定着させ、if や when, I think that~, because の文に変換する練習を繰り返し行う。
 - ②では、自分が書いた英文などをペアで確認し、テーマに対して自分がどのような考えを持っているのか既習事項を用いて書き、英文の流れが自然であるかペアやグループで確認し、文章を付け加える。ワークシートを2種類準備し、習熟度に合わせ、苦手な生徒も意欲的に英文が書けるように工夫をする。
 - ③では、文章を付け加えてもらったものをメモし、まとまりのある文を書く材料に加え、自分の意見を書く活動をまとめの活動にしたい。

(2) 重点項目の取組について

- <何を学んだか振り返ることのできるノート・ワークシートづくり～考えをもたせ、深めさせる～>
- 毎単元「自己表現」の項目を設け、学習した内容を用いて、自分自身のことを英語で表現している。その「自己表現」を小テストや次時の復習に用いることで、前時の学習を振り返ることができる。
 - 教科書本文を音読した後は必ず視写を取り入れ、文字と音をリンクさせる活動を行う。
- <姿勢の徹底～聴く力の育成～>
- チャットインプットを行い、相手の質問を英語で聞いて答える帯活動を行う。
 - クラブルームイングリッシュをできるだけ用いている。聞かなければ理解できない状況を作ること、集中して話を聞き、英語もたくさん吸収できる。
- <家庭学習の習慣づくり>
- 毎回、「本時の学習内容」「家庭学習」「次時の小テスト、又は復習」がリンクする課題を設定している。結果「Eノート」の質や量も増え、定期試験の結果にも反映しており、家庭学習の習慣がついている生徒の割合が昨年度に比べて増えていると考えられる。

(3) 生徒指導の三機能について

- 帯学習であるインプット学習や、活用の場面で用いるグループなどの場面をできるだけ毎時間設け、自分の意見を相互に尊重し、共感的に理解し合う、共感的人間関係を育成する。
- 他教科と連携し作品を仕上げ、一人一人の作品を掲示することで、自己存在感を与える。

単元の目標と評価規準

＜単元の目標＞

- (1) 既習事項などを積極的に用いて自分の考えや意見などを述べたり、書いたりする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 主語や動詞に注意しながら、相手の意見に英文を付け加え、テーマに対する自分の意見や考え、感想などを表現できる。
(外国語表現の能力)
- (3) 緑市で行っている外国語ボランティアについて理解することができる。一郎の母が書いている意見文を読み、概要を理解して自分自身の意見や考えを持つことができる。
(外国語理解の能力)
- (4) if や when などの従属接続詞、I think that～、理由を説明する because といった従位接続詞を用いた文の意味・形・用法を理解している。
(言語や文化についての知識・理解の能力)

＜単元の評価規準＞

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図っている。 ② 辞書を用いたり、教え合いなどを通して、書く活動に意欲的に取り組んでいる。 ③ 英文を読み、感想や自分自身の意見に理由を付けて積極的に書いている。	① 自分の意見や考えを正しく伝えることができる。 ② 主語や動詞に注意し、前後の文のつながりを意識しながら、自分の意見を表現することができる。 ③ 本文の内容が伝わるように音読することができる。	① まとまりのある文章の概要を読み取ることができる。 ② 書かれた内容を理解して、自分自身の意見を持つことができる。	① 従属接続詞を用いた文の意味・形・用法を理解している。 ② I think that～の文の意味・形・用法を理解している。 ③ because を用いた文の意味・形・用法を理解している。

指導と評価の計画

(全10時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	表	理	知	評 価 規 準	
一	if の意味・形・用法を理解している。 if を用いた簡単な表現をする。(1)	○			◎	エ①従属接続詞を用いた文の意味・形・用法を理解している。 ア①間違いを恐れずに if を使って積極的にコミュニケーションを図っている。	ワークシート 活動の様子
二	I think that～の意味・形・用法を理解している。 I think that～を用いて自分の考えを英語で1文書く。(1)	○			◎	エ②I think that～の文の意味・形・用法を理解している。 ア②辞書を用いたり、教え合いなどを通して、I think that～の文章を書く活動に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート ノート
三	接続詞 when の意味・形・用法を理解している。 when を用いて2つの英文を1文にする。(1)	○			◎	エ①従属接続詞を用いた文の意味・形・用法を理解している。 ア①間違いを恐れずにグループで協力してニコイチゲームに積極的に取り組んでいる。	ノート 活動の様子
四	because の意味・形・用法を理解している。				◎	エ③because を用いた文の意味・形・用法を理解している。	ワークシート

	自分が好きなものの理由を英語で表現する。(1)	○		イ①自分の好きなものについて because を用いて相手に正しく伝えることができる。	ノート
五	緑市の外国語ボランティアについて理解する。本文内容を理解し、音読する。(1)	○	◎	ウ①緑市の市民通訳ボランティアの概要を読み取ることができる。 イ③本文の内容が伝わるように音読することができる。	Q Aの解答 音読
六	緑市が計画している外国人へのサービス内容について理解する。本文の内容を理解し、音読する。(1)	○	◎	ウ①緑市が計画している外国人へのサービス内容の概要を読み取ることができる イ②主語や動詞に注意し、前後の文のつながりを意識しながら、緑市のサービス内容について自分の意見を書くことができる。	ノート 音読
七	一郎の母の意見文を読み、内容を理解する。一郎の母の意見文を読み、自分の意見を書く。(1)	○	◎	ウ②一郎の母の意見文の内容を理解して、自分自身の意見を持つことができる。 イ②主語や動詞に注意し、一郎の母の意見文について前後の文のつながりを意識しながら、自分の意見を表現することができる。	ノート ノート
八	庄原市に住んでいる外国人が言語においてどのようなことに困っているのかを知り、アドバイスを書く。本時(1)	○	◎	イ②庄原市の外国人に対するアドバイスについて、主語や動詞に注意しながら前後の文のつながりを意識し、自分の意見を英語で書くことができる。 ア②辞書を用いたり、教え合いなどを通して、自分の意見を書く活動に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 活動の様子
	前時で書いた意見文をグループで交流する。(1)	○	◎	イ①自分が書いた意見をグループ内で正しく伝えることができる。 ア③グループ内で交流した英文を読み、感想や自分自身の意見に理由を付けて積極的に書いている。	ワークシート
九	本単元のまとめをする。(1)		◎	エ①②③本単元で学んだ表現を理解している。	単元テスト

本時の学習

(1) 本時の目標

- 庄原市に住んでいる外国人のために考えたボランティアサービスについて、英語で自分の意見を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

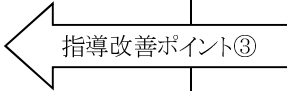
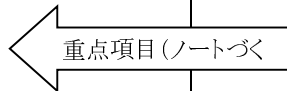
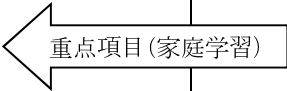
- ◎ 主語や動詞に注意し前後の文のつながりを意識して、自分の意見を英語で書くことができる。
(イ 外国語表現の能力)
- 辞書を用いたり、教え合ったりするなど、自分の意見を書く活動に意欲的に取り組んでいる。
(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 準備物

チャットインプット (別紙1), 意見文用インプット (別紙2), ワークシート2種類 (別紙3, 4), モデル文, ヘルプカード (別紙5), 自己評価カード (別紙6), 電子黒板

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 ○：Bと判断される児童・生徒の状況 ●：Cと判断される児童・生徒への手立て	評価規準	評価方法
1 ウォームアップを行う。(5分)			
○あいさつをする。 ○Input でペア学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気です授業を始める。 ・“Hello.” で始まり, “Thank you.” で終わるように, 型を示す。 ○分からないときは, Input を見ながら答えさせる。 ●正しく発音できなかつたり, 読めない生徒がいるかもしれないので, 苦手な生徒を中心に机間指導を行い, 発音を確認させる。 	<p>指導改善ポイント①</p> <p>指導改善ポイント②</p> <p>重点項目(聞く姿勢)</p>	
2 本時のめあてとすることがらを学習する。(38分)			
○本時のめあてを確認する。 ○ザック先生からのビデオを見て, 課題を知る。 ○課題内容を確認する。 ○書き方のポイントを確認する。	<div data-bbox="229 784 1426 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>庄原に住んでいる外国人のためにできることを考え, I think~. because when を用いて英文を書くことができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・庄原に住んでいる外国人がどのようなことに困っているのかを知り, 身近な問題としてとらえさせる。 ・庄原市に何人外国人が住んでいるのかを確認する。 <div data-bbox="491 1120 1465 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【ザック先生がビデオで話す内容】 Hello, everyone. Do you know how many foreign people live in Shobara? The answer is 303 people. Some of these people can understand Japanese well, but some of them can't. When I came to Japan, I wanted to take a bus, but I couldn't read kanji. So I couldn't take a bus. So please write your idea when Shobara City makes volunteers for foreign people. Do you have a good idea?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ザック先生が話した内容をQ A方式で確認する。 ・難しい単語や必要な情報は, 絵や写真を用いて黒板に貼り, 視覚的支援を行う。 ●言葉だけの理解が困難な生徒には, 写真やジェスチャーを用いて理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・黒板にポイントを貼り, 口頭確認だけでなく, 意見文を書くときの参考にさせる。 <div data-bbox="491 1809 1040 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【書き方の3つの条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. I think~.で始め, 結論先行で書く 2. because, when を使う 3. 意見文は3文以上書く </div>	<p>重点項目(聞く姿勢)</p>	

○モデル文を紹介する。	・つながりの良い例とつながりの悪い例を示して、違いを理解させ、文のつながりの大切さを考えさせる。		
【つながりのある良い例のモデル文】 I think foreign language volunteers teaching Japanese to foreign language people. Because teaching Japanese is helpful. I want to join it.		【つながりのない悪い例のモデル文】 I think foreign language volunteers teaching Japanese to foreign language people. I like English. Because teaching Japanese is helpful.	
○ワークシートに意見文を書く。 【個人思考】	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを思いつかないときは、Help Cardsを見て、参考にさせる。 ・早く書き終えている生徒へは、苦手な生徒へのリトルティーチャーとして、教え合いをさせる。 ●英文を思いつかない生徒への手立てとして、ワークシートを2種類準備し、全員に個人思考をさせる。 ●英文を書いているが、構文に誤りがある場合は、ノートを見ながら既習事項を復習させる。 ○英文を書いているが、文のつながりが正しくない生徒に対して、前後の文章をよく読ませ、誤りに気付かせる。 	主語や動詞に注意し前後の文のつながりを意識して、自分の意見を英語で書くことができる。 (イ②)	ワークシート  
○個人が書いた意見文を読み合う。 【ペア思考】 <div data-bbox="119 1288 462 1534" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【生徒指導の三機能】 ペアでそれぞれの意見を尊重し合い、共感的人間関係を形成する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた意見文をペアで交換し、チェックポイントに従って、英文を確認させる。 <div data-bbox="491 1272 1045 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【チェックポイント】 1. 英文が3文以上ある 2. I think～.の文章が最初に書いてある 3. 理由は because を使って書いてある </div> <ul style="list-style-type: none"> ●チェックポイントを全て判断できないときは、ペアで協力して確認し合う。 ・チェック後、誤りがあれば直しをさせる。 ・交流をする前に、自分の意見文を声に出して読ませる。 ・聞き手を意識して読ませる。 ●読めない単語は何度も読み方を教えて読ませる。 	辞書を用いたり、教え合ったりするなど、自分の意見を書く活動に意欲的に取り組んでいる。(ア③)	活動の様子
3 本時を振り返り、次時の学習内容を確認する。(7分)			
○本時のまとめをする。 ○本時のふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文を書くときに大切なポイントを確認させ、ワークシートに書かせる。 ・意見文を書くことで分かったことなどを、自己評価カードに具体的に書かせる。 		

○次時の内容確認と課題提示	・本時の学習と次時の学習がリンクするよ うな課題提示を行う。		
---------------	-----------------------------------	--	--

板書計画

ねらい	庄原に住んでいる外国人のためにできることを考え、I think～. because when を用いて 英文を書くことができる。	It's Thursday It's October 30th
ザック先生が話した内容 の確認事項	<p>【書き方の3つの条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意見文は3文以上 2. I think～.や because, when を使う 3. 結論先行で書く 	<p>【つながりのない悪い例のモデル文】</p> <p>I think foreign language volunteers teaching Japanese to foreign language people. I like English. Because teaching Japanese is helpful.</p>
	<p>【つながりのある良い例のモデル文】</p> <p>I think foreign language volunteers teaching Japanese to foreign language people. Because teaching Japanese is helpful. I want to join it.</p>	

検 証

検証の方法

○単元終了後、単元テストを行い、1つのテーマについてつながりを意識して自分の意見を英語で書くことができる力を見取る。

問題 9

次のテーマに対して、あなたの意見を英語で書きなさい。ただし、文章の始めは必ず「私は～と思います。」の文章で始め、なぜそのように考えるのか理由も書くこと。